

フラッター使用方法

調合・練り混ぜ

フラッターの練り混ぜは、その使用目的により次のように調合してください。

なお、2回目の塗布時に塗りづらいつきは、再度フラッタープライマーを塗布すると効果的です。

調合	使用目的	容積比		
		フラッター原液	セメント	水
Aプライマー*	フラッタープライマーの場合	プライマー原液 100	—	300~400
B硬ねり	穴・亀裂などを充填する	100	100	10~15
C全面塗布用	全面に塗って補修する	100	100	35~40

*フラッター塗布に先だって、下地にフラッタープライマーを全面塗布してください。

硬化までの時間（養生）

フラッターの塗布後、次工程が可能になるまでの硬化時間の目安は、2回塗り、塗布厚0.5mmで、下表のとおりです。

気温	軽歩行や塗り重ねが可能になるまでの時間	床材が施工可能になるまでの時間
夏季（約30℃）	2時間後	12時間後
春・秋季（約15℃）	2~4時間後	18時間後
冬季（約5℃）	4~6時間後	24時間後

特にデッキプレート下地、ALCパネルなどの多孔質下地においては、2日以上（冬季は3日以上）の養生期間をとるとともに、床材施工時に下地の含水率に留意し、十分に乾燥させる必要があります。

標準使用量

フラッターの標準施工面積は、下表のとおりです。

材料		標準施工面積
フラッタープライマー	フラッタープライマーの場合（9kg缶）	240m ²
フラッター	フラッター原液（28kg缶）+ポルトランドセメント（20kg）	50~80m ²

施工工具



- ①ハンドミキサー
- ②バケツ（フラッターのペール缶を利用）
- ③左官刷毛（2丁ガケ）…プライマー塗布用
- ④地べら…全面塗布用
- ⑤左官ゴテ（角ゴテまたは仕上げゴテ）…部分充填用
- ⑥スクイージー

※このほか水とケレン用ヘラや掃除機など下地の清掃用具が必要です。

引張り強さ

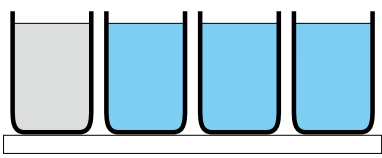
塗布後48時間で、0.5mm厚塗布の場合のフラッターと各種下地との接着強さ（引張り強さ）は次のとおりです。

下地の種類		引張り強さ（N/mm ² ）
セメントモルタル		1.0~1.5
貼り替え下地 （接着剤残存） 〔注〕	アスファルト接着剤	0.4~0.8
	エマルジョン接着剤	0.6~0.8
	酢ビ、エポキシ接着剤	1.0~1.5
石材、テラゾー		0.8~1.5
ALC板		0.7~0.8
無機系塗り床		1.0~1.5

〔注〕〔貼り替え下地：アスファルト系接着剤は60~70%。酢ビ系・エポキシ系接着剤は30~40%除去〕

[A] フラッタープライマーの調合
■専用のフラッタープライマーを使用する場合

フラッタープライマー 100 水 300~400



●調合

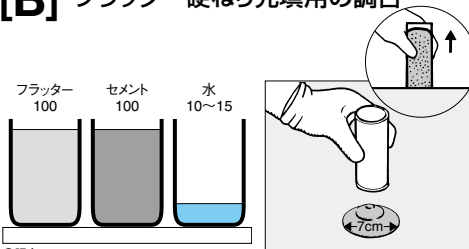
フラッタープライマー1に水3~4を加えてうすめ、これをよく攪拌して使用する。
 9kg入り1缶で約240m²使用できる。



スクイージーやローラーバケで下地全面に塗布する。

[B] フラッター硬ねり充填用の調合

フラッター 100 セメント 100 水 10~15



●調合

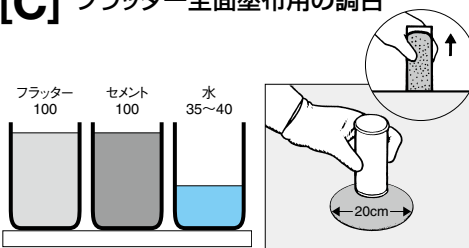
適正フローの目安



左官ゴテで硬ねりを充填する。

[C] フラッター全面塗布用の調合

フラッター 100 セメント 100 水 35~40



●調合

適正フローの目安



地べらで全面に塗布する。

※ [B] [C] 図中のフロー容器は190gの飲料缶を用いる。

フラッターの積算

所要量の算出基準

フラッター塗りのコスト計算は①下地の状況②フラッタープライマー③フラッターと普通ポルトランドセメントの材料代④作業効率によって行います。

材料	全面塗布 (調合A)	
	フラッター原液	普通ポルトランドセメント
所要量 (kg)	1.02×面積 (m ²) ×厚さ (mm)	0.72×面積 (m ²) ×厚さ (mm)
梱包単位	28kg 12kg	—
1缶当たりの施工可能面積*	50~80m ² 20~30m ²	—

全面塗布 (調合A) の場合、原液1缶 (28kg) に対して、セメント約20kgで計算してください。この調合で50~80m²を塗布できます。

※ 古い下地の傷み具合や不陸の程度によって異なりますが、塗り厚は0.3~0.5mmが標準です。フラッター原液1缶 (28kg) は、2回塗り50~80m²に塗れます。

プライマーの調合	
材料	専用フラッタープライマーを使うとき
梱包単位	9kg缶
1缶当たりの施工可能面積	240m ²

※下地の状況

一般にフラッター塗りは、プライマー塗布後全面に2回塗り程度で仕上がります。しかし、下地の状況によっては、全面塗りをさらにもう1回加える必要があります。この場合は、塗り手間が標準より約20~30%高となります。

※作業効率

一般には、プライマー塗布も含めて標準塗り厚み0.5mm全面塗布 (2回塗り) で、1回の施工可能面積は100m²程度 (1人工) です。